

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	転移性上部尿路上皮癌に対する Pembrolizumab の治療効果予測因子について
	研究目的	転移性上部尿路上皮癌に対して Pembrolizumab (キートルーダ) を投与した際の効果を予測する因子は未だ報告が少ない。そこで我々は当院で転移性上部尿路上皮癌に対して Pembrolizumab (キートルーダ) を投与した方々のデータを振り返ってどのような方によく効いて、どのような方にあまり効かないのかを明らかにし日常診療の治療選択の一助とする。
	研究方法	診療録から臨床情報を入手しどのような因子が予測因子になりうるのか統計学的に解析する。
	研究対象者	2018 年 1 月から 2023 年 6 月までに当センター泌尿器科にて転移性上部尿路上皮癌に対し Pembrolizumab が投与された患者さん。
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 26 日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	長坂拓学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 泌尿器科 長坂拓学 nagasakah@kcch.jp	